

11月



地方観光の魅力

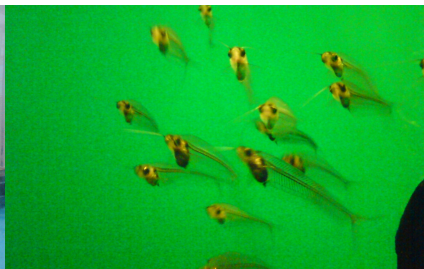
とうとう11月。もうすぐ雪ですね。5年くらい雪国に暮らしてわかったことは、季節は急に激変しない事です。雪降る季節の前には、なぜか猛烈に晴れる超秋晴れがあったり、ものすごく強風な日があったり。そんな日を迎えると、あっ、そろそろだと思わけます。昔から同じ事が引き継がれている。というのは時に魅力にもなります。

富山県魚津市にある「魚津水族館」に行きました。日本で一番古い水族館です。僕はてっきり、魚津市のPRポイントは水族館かと思いきや。。。「蟹気楼が見える街」だそうです。あれ！？

写真を見たらわかるように、誰もが古そうな&田舎によくある&ショボイ。。などと外観は思うでしょう。でも、魚津市の観光マップに載っているんだから仕方ない。いざ入館！！

そーしたら、子連れの若妻さんたちで賑わっていてビックリしました。こういうところは、普通、誰もいないのです(失礼)けれど、地元の人が、そしてカップルも！つまり若者も利用する休日のローカルスポットでありました。

期待していなかったから、そのギャップは激しいものでした。いやいや、広いし、種類多いし、カッコイイ魚とか気持ち悪い生物とかたくさんいるし、ペンギンの餌やり現場見ちゃったし、アザラシかわいいし、リュウグウノツカイ4mもあるし、ピラルクいるし！！とても充実しているのでした！！



とまあ、展示が充実しているのはなぜか？それは、従業員をはじめ、この水族館を運営している方々の「やる気」が感じられるのでした。建物は正直古い。でも、おもてなしを感じる展示や、ホントに好きなんだなという要素が感じられるショーであったり。。。その志が、魚津市の人々にも届いているから、地元でも愛される施設になっているんだと感じました。これって大切な事だと思います！

ということで、我々が置賜に置き比べてみると。やっぱり、歴史や文化は色々あるけど、どれも過去のものになってしまっていて、現在の生活に入り込んでいないから、「生きた観光」にはなってないんですね。何も、上杉家と同じ生活を送れとは思いませんが、米織が有名なら、普段から着物を着ても普通な環境があったり、紅大豆が近所の喫茶店のおつまみで出てきたり、色々とその土地ならば普通の中に入り込んでこない、魅力というのは伝わらないんだと思います。こういうことは、ずばり意識の違いなんです！

現地の人が当たり前だとしている普通な事が、観光客には珍しいのです。だから、魚津水族館は日本で一番古い歴史のある水族館。。。ということでPRしているわけではなく、生物を見て楽しむ、本来の水族館のおもしろさをPRしているんだなあ、と思う、寒い秋のひと時でした。おわり。